

ピアクシー峰 (6090m) 初登頂

JAC東海支部第12次インドヒマラヤ登山隊2014

登山隊長 星 一 男

東海支部第12次インドヒマラヤ登山隊2014は、6090m無名峰に平成26年7月4日午前8時30分に全員登頂を果し、ピアクシー峰と命名した。1988年の第1次・ヤン峰以来16座目の登頂となる。今回は、第10次アツチエ峰(2009年)、第11次チエマ峰・全員登頂(2011年)と同じラホール地区カルチャ・ナラ流域のD氷河源頭の未踏峰を目指す、3度目の遠征である。

- 今回の遠征目的は、
- ①遠征隊を継続して出すこと
 - ②隊員の若返りを図ること
 - ③探検的登山を行うこと
 - ④特にカルチャ・ナラ源流域からD氷河の略奪点を越えて、バラシグリ氷河域に入り、踏査する。

以上が主たる狙いである。また、初期のころから、ハイポーターとして数々の登頂に協力してくれたが、昨年落石により不慮の死を遂げた故ファテ・チャン氏宅の弔問も予定した。マナリで登山準備中に、在

インド日本大使館より電話連絡が入った。「デリーに戻りたいので、ぜひ来ていただきたい」とのことであった。「登頂成功」の報告を是が非でも出来るようにと気合が入る。

- ▲隊の構成
- 隊長・星 一男(63)
 - 登攀隊長・鈴木美代(62)
 - 隊員・土屋昌代(38)
 - 登山本部・アドバイザー・鈴木 木常夫

- ▲行動記録
- 6/15 日本出発
 - 6/17 IMFにて登山手続き L/O面会、在インド日本国大使館へ挨拶
 - 6/19-6/21 マナリで登山準備、故ファテ・チャン・タクル宅弔問
 - 6/23 マナリ→ロータン・バス→チャトルヘジープで移動の途中で道路未開通の為、馬に変更してキャラバン開始
 - 6/25 バタル(3990m)着
 - 6/27 カルチャ・ナラから

- BC (4300m) 設営
- 7/1 D氷河にC1(4800m) 設営
- 7/2-3 D氷河にC2 (5200m) 設営
- 7/4 6090m無名峰に全員初登頂

- Pyagski Peak (ピアクシー峰) と命名
- 7/9 バタル帰着
- 7/10 マナリ帰着
- 7/14 デリー帰着
- 7/15 午前 IMF訪問。リエゾンオフィサー、隊員とともに登頂報告しピアクシー峰と正式に命名決まる。
- 夕方 在インド日本国大使館を訪問。八木大使からのご招待で夕食会に出席する。
- 7/18 日本帰着



- ▲登頂記 鈴木美代
- 7月4日 2時起床3時出発。出発から2時間、取り付き

手前で休憩。取り付きは尾根末端のサイドの雪壁である。ガイド役のネギ氏とハイポーター13名でルート工作してゆく。上部の少し傾斜が立つあたりではザイルをフィックスに使い、5Pほどで稜線。最後の1Pは雪が減り、ちよつとしたガレ場になる。落石を起こしそうで下から人が来るときは神経を使う。その先はなだらかな尾根となり、ノーズイルで少し進む。全体にとくに困難なところは無いが、昨日の偵察では稜線左側に雪庇が出ていたので要注意。出発から5時間、頂上の望める小ガレ場で休憩。天気はまずまずだがセントラルピークは頂上を雲に隠していた。荷物をデポし、ここからはコンテで頂上に9時。全員で写真を撮り、ヤシの実で乾杯した。上空一部雲はあるものの天気は上々で、周りの山々もよく見え、星隊長は偵察目的も果たせたとご満悦であった。

取り付きからC2に戻る。山名ピアクシーは、隠れたという意味。なかなか登る山が見えてこなかったことによる。

今回の最大の難所は、山の確定であった。ピアクシーにはもう一つ、恥ずかしがりの女性という意味もあるらしい。

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎0532-26-3737

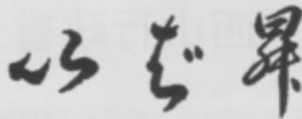


住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

モンタニア

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日



第18回「遭難を考える」講演会開催

11月28日(金)県スポーツ会館に於いて、望月将悟氏を迎えて「遭難を考える」講演会(未知への挑戦)を開催しました。望月氏は静岡市消防局・山岳救助隊員であり、日本一過酷な山岳レース「トランスジャパンアルプスレース」3連覇を成し遂げており、以下のテーマについてお話しをしていただきました。

1. 山が僕に果たしてくれたもの(生まれ育った静岡市井川の生活と環境など)
2. トランスジャパンアルプスレースへの挑戦
3. 安全登山をするために、山岳救助最前線からの声。

参加者146名は、時の経つのも忘れて聴講しました。(岩瀬幹生)

平成26年度 冬山入山状況

H26.1.2.18現在

▲穂高方面

(No.)	(所属団体名)	(登山期間)	(登山ルート)	(リーダー)	(人数)
1	千種アルパインクラブ	12/31 ~ 1/1	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	5名
2	名古屋山岳会	12/28 ~ 1/3	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	3名
3	チーム猫屋敷	12/26 ~ 12/31	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	4名
4	JAC東海支部	12/27 ~ 12/31	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	4名
5	千種アルパインクラブ	12/27 ~ 12/28	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	6名
6	〃		新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	1名
7	〃		新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	1名
8	豊川山岳会	12/27 ~ 12/29	新穂高~西穂山莊丸山~新穂高	山田 中木 山崎 我藤 戸合	10名

▲後立山方面

1	岡崎山岳会	12/30 ~ 1/1	中房温泉~燕岳or大天井	内富 吉富 裕康 博紀	6名
2	豊橋山岳会	12/30 ~ 1/4	天狗尾根~北壁主稜~鹿島	内富 吉富 裕康 博紀	2名
3	岡崎山岳会	12/26 ~ 12/27	遠見尾根~五竜岳	内富 吉富 裕康 博紀	2名
4	中央アルパインクラブ	12/28 ~ 12/30	八方尾根~唐松岳	内富 吉富 裕康 博紀	4名
5	JAC東海支部	12/28 ~ 12/30	中房温泉~燕岳	内富 吉富 裕康 博紀	5名

▲八ヶ岳方面

1	イノアックコーポレーション	12/31 ~ 1/1	黒百合平~東天狗岳~西天狗岳	大竹 利之	4名
2	〃	1/3	乙女峠~金時山	大竹 利之	10名
3	豊川山岳会	12/28 ~ 12/30	旭岳東稜~行所小屋~阿弥陀北稜	大竹 利之	2名
4	チーム猫屋敷	12/27 ~ 12/29	渋の湯~硫黄岳~渋の湯	大竹 利之	7名
5	千種アルパインクラブ	12/27 ~ 12/28	美濃戸~赤岳鉦泉~赤岳	大竹 利之	2名
6	〃	12/27 ~ 12/28	美濃戸~赤岳鉦泉~赤岳	大竹 利之	4名
7	アイシン精機山岳部	12/26 ~ 12/28	美濃戸~赤岳鉦泉~赤岳	大竹 利之	4名
8	G.S.A	12/29 ~ 1/3	ジョウゴ沢~硫黄岳~赤岳	大竹 利之	5名
9	やまびこ山想会	1/3 ~ 1/4	行者小屋~石尊稜~阿弥陀北稜	大竹 利之	3名

▲中央アルプス方面

1	名古屋山岳会	12/28 ~ 12/30	菅の台~北御所登山口~宝剣岳	小川 義夫	4名
2	岡崎山岳会	12/27 ~ 12/28	菅の台~千丈敷駅~木曾駒ヶ岳	小川 義夫	2名
3	豊橋山岳会	12/27 ~ 12/31	大平峠~安平路~摺古木	小川 義夫	5名
4	〃	12/26 ~ 12/30	池山尾根~空木岳	小川 義夫	2名
5	千種アルパインクラブ	12/29 ~ 12/31	小野川昌股沢~麦草岳	小川 義夫	2名
6	デンソー電友山岳部	12/27 ~ 12/31	上松尾根~木曾駒ヶ岳	小川 義夫	12名

▲南アルプス方面

1	春日井山岳会	12/27 ~ 12/30	仙丈ヶ岳~北沢峠~甲斐駒ヶ岳	坂口 公美	2名
2	〃	12/27 ~ 12/29	市野瀬~仙丈ヶ岳	坂口 公美	7名
3	名古屋山岳会	12/31 ~ 1/4	奈良田~農鳥岳~北岳	坂口 公美	4名
4	M.M.C岡崎山岳部	12/26 ~ 12/29	戸台~北沢峠~甲斐駒ヶ岳	坂口 公美	8名
5	トヨタ自動車山岳部	12/26 ~ 12/30	三伏峠~塩見岳西峰	坂口 公美	2名
6	豊田山岳会	12/27 ~ 12/30	鳳凰	坂口 公美	5名
7	蒲郡山の会	12/28 ~ 12/31	戸台~北沢峠BC~甲斐駒ヶ岳	坂口 公美	2名
8	岡崎山岳会	12/27 ~ 1/1	五丈ヶ岳~甲斐駒ヶ岳	坂口 公美	4名
9	愛知山岳会	12/27 ~ 1/1	鳥倉林道~三伏峠	坂口 公美	3名
10	千種アルパインクラブ	12/28 ~ 12/31	大岩下ノ岩小屋~甲斐駒ヶ岳	坂口 公美	2名
11	〃	12/27 ~ 12/31	奈良田~北岳	坂口 公美	2名

▲その他方面

1	岡崎山岳会	12/27 ~ 1/3	立山駅~室堂~雄山	永田 昌美	4名
2	豊田山岳会	12/27 ~ 12/29	韓国 雪獄山	永田 昌美	5名
3	JAC東海支部	12/29 ~ 12/30	醒ヶ井駅~雲仙山	永田 昌美	3名
4	名古屋山岳会	12/28	大日ヶ岳(高鷲スノーパーク)	永田 昌美	6名
5	やまびこ山想会	1/10 ~ 1/12	八ヶ岳 袖添尾根	永田 昌美	11名

中高年安全登山指導者講習会(東部地区)

講義と実習に楽しく学ぶ!

やまびこ山想会

浅井 光江

平成26年度中高年安全登山指導者講習会が、9月26日から28日迄、青森県弘前市「岩木青少年スポーツセンター」で開催されました。

愛知県から、やまびこ山想会から2人、豊田山岳会から1人の3人が出席しました。今年のテーマは「山岳ファーストエイドの知識と実習」です。

初日は、①北村憲彦先生の「中高年登山の現状と課題」続いて②国際山岳医・大城和恵先生の「登山時のファーストエイドの知識と実習」を繰り返して受講しました。

最後は③阿部東先生の「岩木山周辺の動植物について」二度の水河期を生き抜いてきた植物(ミチノクコザクラ)また動物たち。テンが生息しているの聞き驚きました。

2日目、岩木山に百沢のスキー場から入山し「登山時のファーストエイドの実際」を



指導にあたる大城和恵氏

錫杖清水と下山途中の八合目駐車場の2ヶ所で行った。実習を5班8人づつのグループ毎に、25分程度づつ行ないました。また、参加者全員が登頂しました。

3日目は、午前の研究協議ではグループ討議と質疑応答がなされました。そして閉講式のあと解散となりました。

延べ3日間に及ぶ講習会では、繰り返しファーストエイドの重要性を学びました。熱心な指導により、粘土頭にも吸収の自信が生まれました。山では不可抗力な事故が発生します。(この日、御嶽山が噴火しました)その中で生死を分けるのは、知識と行動

力と運命だと思えます。尚、次回は東京都の高尾山で開催予定です。

常任理事会

▼12月2日(火) OMCビル

〔出席者〕安藤会長、中平等、伊藤、高橋副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、杉本(三)、丹羽、高木、樺山、星、吉村、関谷各常任理事

I 報告事項

1. 愛知県遭難対策協議会 (11/5 県庁) 安藤
 2. 高体連新人大会 (11/8 9 釈迦ヶ岳) 男女30チーム120人参加
 3. 第35回自然観察会 (11/8 鈴鹿) 杉本
 4. 自然保護委員会 (11/11 県スポ) 杉本
 5. 日山協自然保護委員会総会 (11/22 広島) 杉本
 6. 第18回「遭難を考える」講習会 (11/28 県スポ)
- ### II 審議・お知らせ事項
1. 第2回Jrクライミング記録会 (12/13 キューブ)
 2. 冬山遭難対策会議、冬山気象情報 (12/18 県スポ)
 3. 第3回高校生クライミング選手権 (12/23 24 埼玉)
 4. 指導員集会 (1/13 東三、1/20 県スポ) 高木
 5. 高体連第2回登山部委員会 (1/20)

編集後記



■平成26年は、自然災害の多い年だった。特に御嶽山の噴火は多数の被害者を出し、白馬村や白山の地震なども憂慮する事態で、登山界に多くの教訓を与えた。

■登山ブームと共に登山者も増加傾向、だが登山口のアンケートでは認識の甘さが在り在り。山に登るなら基礎的な知識を習得してほしいもの。

■昨年皆様のご協力により「愛知岳連ニュース」を刊行することができました。今年も情報紙として頑張っていきますので、よろしくお願ひ致します。(N)

月日	内容
2. 3	常任理事会 (OMCビル)
2. 8	第2回Jrクライミング記録会
2.10	登山勉強会(東三)低体温症について自然保護委員会(県スポ)
2.14~15	岳連親睦スキー大会・雪山ハイク(イトシロ・ウイング白鳥)
2.17	登山勉強会(県スポ)低体温症について
2.28~3.1	雪山技術講習会(イトシロ)
3. 7	愛知山岳マラソン(猿投山)
4.18	平成27年度愛知県山岳連盟総会(県スポ)

◆2・3月スケジュール



<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopint.jp